

株式会社ピクルスコーポレーション

証券コード 2925

野菜のおいしさから生まれる
豊かな食文化をお届けします。

ススム通信

第46期 | 2021年3月1日～2022年2月28日

<特集>

ピクルスの
サステナビリティへの
取り組み

P.1-3



野菜の元気をお届けします。
PICKLES
New Traditional Taste

特集

～持続可能な社会の実現に向けて～

ピックルスの サステナビリティへの取り組み

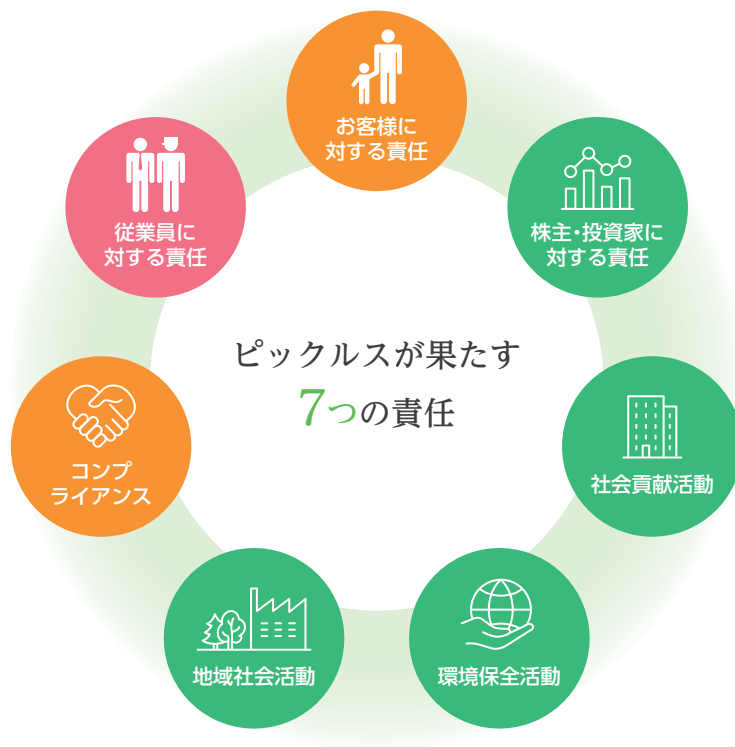
ピックルスでは、さまざまな課題の解決に取り組み、
経営方針の実現を通じてサステナブルな社会の実現に貢献します。

ピックルスの サステナビリティ経営

ピックルスは、環境への配慮、食の安全、働きやすい職場作りを経営方針に定め、この経営方針の実現に向けて、「お客様に対する責任」「株主・投資家に対する責任」「社会貢献活動」「環境保全活動」「地域社会活動」「コンプライアンス」「従業員に対する責任」という7つの責任を果たすことが、環境問題や社会問題を解決すると同時に企業価値の向上に繋がっていくものと考え、サステナビリティ経営に取り組んでいます。

さまざまな課題の解決が、今後のピックルスの成長及び持続可能な社会の実現には必要不可欠であると認識し、その実現のために、国連が策定したSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みは非常に重要であると考えています。サステナビリティ委員会及び分科会等を中心に取り組みを検討・実施することで、サステナブルな社会の実現に貢献いたします。

ピックルスが果たす7つの責任



サステナビリティ経営の全体像

経営方針	7つの責任	重要な取り組み	関連するSDGs
 地球環境に配慮した企業経営 主な取り組み▶右記	環境保全活動 株主・投資家に対する責任 社会貢献活動 地域社会活動	● 地球温暖化対策及び資源の有効活用 ● 社会や地域に対する貢献活動 ● ステークホルダーとの対話強化	
 安全でおいしい製品を作るための品質管理 主な取り組み▶P.3	お客様に対する責任 コンプライアンス	● サプライチェーンとの共同での取り組み強化 ● 科学的な根拠に基づいた製造手順 ● お客様の声を反映した製品づくり ● コンプライアンスの強化	
 従業員のモラルアップと安全・健康を第一とした職場づくり 主な取り組み▶P.3	従業員に対する責任	● 従業員の安全・健康を重視した職場づくり ● 従業員の多様性や個性を尊重した能力開発を行い、働き甲斐のある職場づくり ● 従業員が働くことを誇りに思い、働くメンバーに敬意をもてる職場づくり	



地球環境に配慮した企業経営

主な取り組み

環境マネジメントシステムの活用

1998年にISO14001環境管理システム委員会を設置し、認証取得に向けた取り組みを開始し、1999年8月に食品業界で初めて全事業所一括でISO14001を認証取得いたしました。

(株)ピクルスコーポレーション関西は、2021年にエコアクション21を取得しています。

プラスチックの削減

リサイクル原料を使用するエコAPETや、植物由来の原材料を配合するバイオPETなど、容器包装には環境に配慮した素材を使用しています。こうした取り組みにより、プラスチックの使用量を削減し、化石資源の使用量削減、温室効果ガスの排出削減などの環境負荷の軽減に取り組んでいます。

食育活動

子ども食堂への支援として、寄付や商品の提供を行っています。これに加え、製品パッケージに子ども食堂の情報を載せることで社会的認知度の向上に取り組んでいる他、子ども食堂を利用する方々を招待して野菜収穫体験や「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」でのキムチ作り体験など、食育活動も実施しています。



ピクルスのサステナビリティへの取り組み



安全でおいしい製品を作るための品質管理

主な取り組み

■ 食品安全マネジメントシステム

食の安全・安心への取り組みとして食品安全マネジメントシステムへの対応を進めています。工場ごとにHACCPプランを作成し、安全で合理的な食品製造の管理方法を構築しています。また、食品安全マネジメントシステムとして、FSSC22000やJFS等を取得し、品質・衛生管理体制の強化を図っています。



■ 製品表示

食品の表示は、消費者が商品を選択し、安心して利用する上で必須の情報であるため、その重要性を認識し対応しています。法令に基づいた義務表示に加え、消費者にわかりやすい情報を提供するために、自社で独自に設定した任意表示も使用しています。

■ サプライチェーンの管理・原材料調達

主たる原材料である野菜については、品質の維持と安定供給力を重視し、8割程度を契約農家から仕入れており、消費者に対し「顔の見える野菜」として安心感を提供しています。



従業員のモラルアップと安全・健康を第一とした職場づくり

主な取り組み

■ 人事制度

従業員の安全・健康や働きやすい職場環境作りを重要な経営課題と認識しており、次の制度を運用しています。

- 65歳まで再雇用する再雇用制度
- 資格手当支給制度
- 出産祝金の他、子どもの成長に合わせた子育て支援金
- 手厚い育児短時間勤務制度（小学校就学まで）
- 有給休暇の連続取得を推奨
- ノー残業デーの積極的な推奨

■ 教育制度

社員一人ひとりの能力向上を目指し、自ら学ぶ姿勢を応援する自己啓発支援制度や、会社にとって有益な資格を取得した場合に報奨金を出す資格所得報奨金制度を導入しています。自己啓発支援制度の活用例としては、惣菜管理士1級や第1種衛生管理者など、資格取得報奨金制度の活用例としては、販売士2級や食品表示検定中級などがあります。



社員教育としては、内定者研修や新入社員研修、管理職研修などの階層別研修を実施しているほか、教育クラウドシステムを導入し、研修の充実化を図っています。

おいしさの提供を通じて環境と社会に貢献し、
新たな価値創造に挑戦してまいります。

ご挨拶

株主の皆さまにおかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、代表取締役社長に就任いたしました影山直司です。私は、当社に入社以来、製品開発、営業及び製造管理などさまざまな部門を経験してまいりました。社長就任に際して、これまでの経験を活かし、ピクルスグループのさらなる発展に向け全力を尽くしてまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

影山 直司



Q1

2022年2月期を振り返り、
営業状況をご説明願います。

A1

野菜価格の安定や生産の効率化により
5期連続増益となりました。

2022年2月期は、前期に続き、新型コロナウイルス感染症の流行状況に大きな影響を受けた1年となりました。

事業環境としては、新型コロナウイルス感染症対策に加え、原油価格や原材料価格の高騰により、容器や物流費などが値上がりする傾向にあり、コスト高への対応が求められました。

売上面では、前半は巣ごもり需要・家飲み需要の継続により、主力の浅漬・キムチ製品に加え、惣菜が売上を伸ばしま

した。その後、秋から冬にかけて感染者数減少により緊急事態宣言等が解除されて巣ごもり需要が落ち着いたことによる反動減の影響を受け、通年で減収となりました。

利益面は、天候が比較的順調に推移して白菜・胡瓜などの原料野菜の仕入価格が安定したことや、商品規格の見直しや生産アイテム集約による生産効率化、原料購買方法の見直しなどに取り組み、5期連続の増益となりました。

以上により、売上高は450億6百万円(前期比2.2%減)、営業利益は29億42百万円(同8.5%増)、経常利益は30億68百万円(同8.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は21億28百万円(同16.2%増)と、各利益について、過去最高を更新しました。

Q2

中期経営計画と
今後の展開をお聞かせください。

A2

成長戦略を着実に推進し
目標達成を目指します。

当社グループでは、中期経営計画を策定し、2025年2月期の目標を、「売上高420億円^(※)、営業利益26億円」としております。

成長戦略として、販売エリアの拡大に注力しており、特に西日本エリアの強化を進めています。このエリアにおける営業を強化し、当社グループの売上にも占める割合を30%以上に引き上げることを目指しています。また、販売先の拡大についてはドラッグストアを中心に、新規販売先の開拓を図ってまいります。

製品開発の強化では、漬物・惣菜以外の売場に展開可能な商品の開発に挑戦しています。これまで、豆腐売場向けにチゲ鍋の素、納豆売場向けに納豆用キムチなどを開発しました。さらに、チューブタイプの糠床を青果売場などで展開しています。また、前期は、BMIが高めの方の体脂肪を減らす当社初の機能性表示食品「Pne-12+キムチ」を開発し、販売を行いました。機能性表示食品についても継続して取り組んでまいります。

設備投資については、3年間で60億円を計画しております。茨城県の白菜産地の近くにキムチ専用工場を計画しており、

生産効率を高めるため機械化を進めていきたいと考えています。また、関西地区にも新工場を検討しており、関西地区に加え、北陸・東海地区への供給力の強化を図ります。

※収益認識基準適用後の売上高

Q3

新規事業の現状と
展望についてお聞かせください。

A3

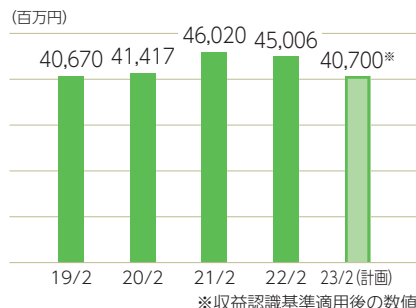
食を通じた楽しさの提供や
地域貢献に取り組みます。

新規事業について、「発酵」「健康」をテーマに外食・小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」は、新型コロナウイルス感染症の影響でプロモーションに制限がかかる中での運営となりましたが、さつまいもの栽培など、新しい取り組みも行うことができました。今後は、テイクアウトメニュー等の商品開発や旅行会社のバスツアー活用などを進め、さらなる集客の拡大を目指します。

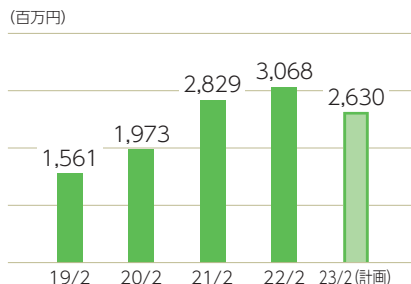
また、「ピーネオンラインショップ」(Pne-12関連商品)と「八幡屋オンラインショップ」(本格漬物)の2つのECサイトは、今年の夏までに集約・統合を行い、お客様の利便性を高めていきます。

2022年3月には、(株)ピクルスファームを設立し、農業事業を開始しました。野菜の生産から出荷まで一貫して手がけることで、安全・安心な原料野菜を調達するとともに、雇用創

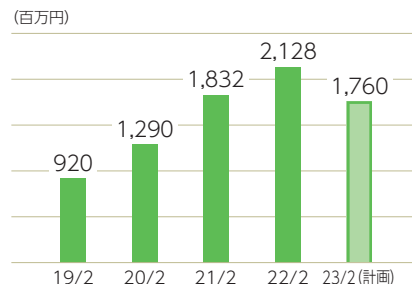
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益





出や地域活性化に貢献します。将来的には、工場で発生する野菜残渣を堆肥化して、それを畑で利用する循環型農業にも取り組んでまいります。

Q4 SDGsへの取り組みについて伺います。

A4 全社員一丸となって社会課題の解決に取り組みます。

当社グループでは「おいしくて安全、安心な商品を消費者にお届けし、同時に地球環境に配慮した企業経営を目指します」という経営理念のもとにSDGsに積極的に取り組んでおります。2021年6月に、SDGsに関する取り組みを統括する「サステナビリティ委員会」を立ち上げ、その傘下に「環境」「安全・安心」「従業員」の3つの分科会を設置して、重要課題の特定や、達成すべき中長期的目標の設定、行動計画の策定・実行に取り組んでいます。具体的な取り組みとして、原材料となる野菜の残渣を有効活用することや、工場に太陽光パネルを設置することなど、さまざまな計画が進行中です。

これからも事業活動を通じて、社会課題の解決に貢献するとともに、企業としての発展を目指してまいります。

Q5 ステークホルダーの皆様へのメッセージをお願いします。

A5 厳しい環境の中で「野菜の元気」を皆様に届けるため、積極的な挑戦を続けます。

期末配当は、財務状況などを総合的に勘案し、当初の予定から2.5円^(※)増額し、1株当たり20円とさせていただきます。これにより株主の皆様への配当は、8期連続の増配となりました。2023年2月期の期末配当は、20円を予定しています。未来に向けた成長投資の源泉として内部留保を維持しつつ、株主の皆様への還元水準を高めるべく、引き続き業績の向上に努めてまいります。

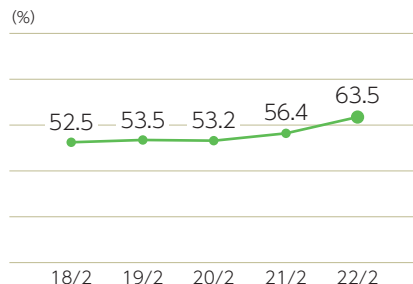
当社グループはこれまで「野菜の元気をお届けします。」というコンセプトの下で、安全・安心でおいしい商品を提供し、消費者の健康的な生活の実現に貢献することが社会的な存在意義であると考えて成長を続けてまいりました。

現在、当社グループを取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。今後も生き残っていくために、新規事業への取り組みや販売エリアの拡大など積極的なチャレンジを続けてまいります。

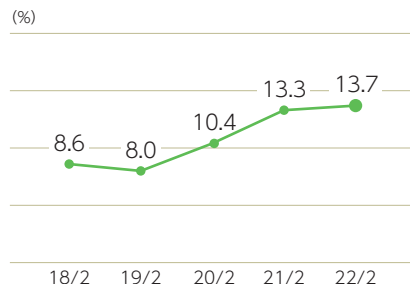
株主をはじめステークホルダーの皆様におかれましては、今後ともなお一層の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※2021年9月1日付で当社普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、当該株式分割を考慮した金額

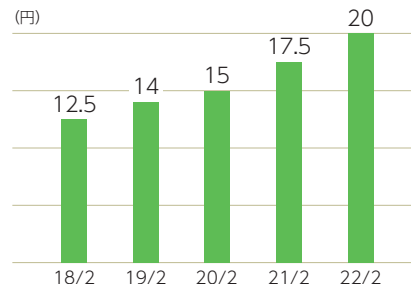
自己資本比率



自己資本利益率 (ROE)



1株当たり配当金



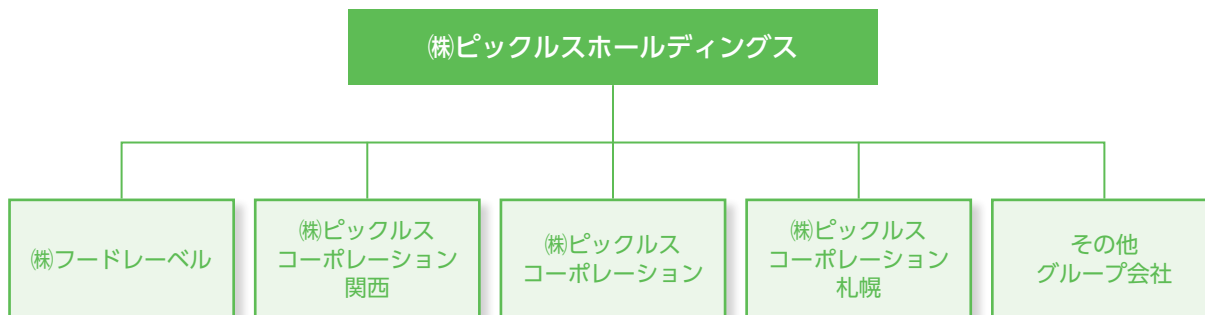
※2021年9月に株式分割を実施しており、その影響を考慮して記載

2022年9月1日より、(株)ピックルスホールディングスへ 持株会社設立について

持株会社体制への移行の目的

1. M&Aや新規事業を含むグループ経営の戦略立案機能を強化し、グループ内における経営資源の配分を最適化すること
2. 監督機能と執行機能を分離することで、持株会社と事業会社の役割と責任を明確化するとともに、各事業会社における意思決定を迅速に行える体制を整え、スピード感をもって時代の変化に対応しグループ競争力の強化を図ること

体制図



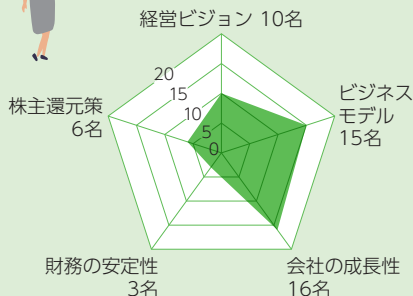
※最終的なイメージ図

個人投資家向け説明会を実施

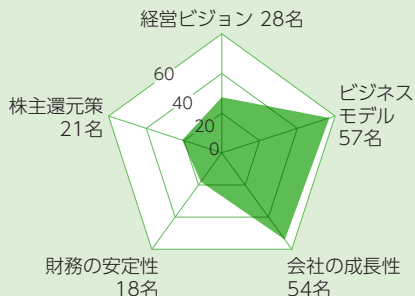
当社では、企業知名度向上及び個人株主づくりのための取り組みとして個人投資家向け会社説明会に注力しております。当期は、ビジネスモデルや成長性について、プレゼンテーションや動画等により、ご理解いただく機会を設定いたしました。今後も個人投資家向け会社説明会などのIR活動を、積極的に実施してまいります。

今回の説明で興味を持った部分は？（複数回答）

プレゼンテーション



動画



参加者からのコメント

日本の食卓になくってはならない、食を支え、着実に成長している企業であることが分かった。
（40代 男性）

当社のビジネスモデルとその強みについて理解を深めることが出来ました。
（70代 男性）

株主優待制度の概要

対象となる株主様

毎年2月末日現在の株主名簿に記載又は記録された、当社株式100株（1単元）以上を保有する株主様を対象といたします。

優待内容

当社グループの商品詰め合わせセット（1,500円相当）など、数種類から1つを選択していただき、贈呈いたします。なお、2022年2月末日現在の株主様向けの優待内容は次のとおりです。株主優待品のご案内と申込書は、2022年5月下旬に発送しております。

1. ピーネセット



2. 八幡屋セット



3. ピーネ・八幡屋セット



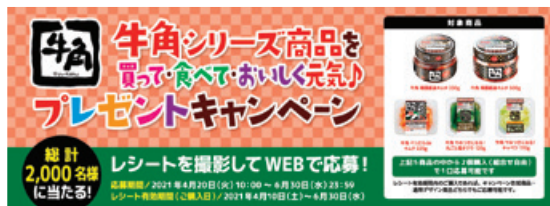
4. 社会貢献団体への寄付



NPO法人
全国子ども食堂支援センター・
むすびえへの寄付

「牛角シリーズ商品を 買って・食べて・おいしく元気」 プレゼントキャンペーン」を全国で実施

牛角シリーズ商品を買ってWEBで応募、宮崎牛やお米食べ比セット、NARUMIクックポットが総計2,000名様に当たるプレゼントキャンペーンを全国で実施しました。



「ご飯がススムプレゼントキャンペーンを 全国で実施

「ご飯がススムキムチ」、「ご飯がススム辛口キムチ」「ご飯がススムカクテキ」を対象商品に、キャンペーンシールのシリアルナンバーを集めてWEBで応募、その場で抽選結果がわかるキャンペーンを実施しました。



3月
2021年

4月

5月

6月

7月

8月

新発売

「発酵の魔法 かんたん糠床」を 発売

植物由来の乳酸菌Pne-12 (ピーネ12) で発酵させる独自の発酵製法で酸味や香りを引き出したためか漬の素です。野菜だけでなく、肉や魚などさまざまな素材を漬けるのに便利なキャップ付きのパウチを採用しました。



新発売

機能性表示食品 「Pne-12+キムチ」を発売

独自の乳酸菌Pne-12とフラクトオリゴ糖には、BMIが高めの方の体脂肪を減らす機能が報告されています。こく深い甘みのある味付けにすることで、毎日食べやすく満足感のある商品に仕上げました。



ピクルスコーポレーション 「企業ブランド」新CMを放送

躍動感あふれ、パワフルでインパクトのある「企業ブランド」新CMを展開しました。元気なナレーションが誠実さと決意を、さらには健康イメージまでをもしっかりと伝えます。

印象的に映し出される、上質で美味しそうなキムチのシズルカットで、商品の品質もアピールします。



株ピクルスファーム設立を公表 3月から農業事業を開始

今後のさらなる当社グループの成長を見据えて、子会社を設立し、農業事業を開始いたしました。

野菜の生産から出荷まで、野菜の生産全体に関わることで、安全・安心な原料野菜を継続的に調達できることにより、会社のさらなる成長が期待できることや、農業を通じた雇用の創出や地域活性化など、持続可能な農業経営を行うことにより、日本の農業に貢献できることなどを見込んでおります。



9月

10月

11月

12月

1月

2022年

2月

リニューアル

「ご飯がススム豆腐チゲの素」を リニューアル発売

ご飯がススムキムチの魚介の旨味にやさしく香る生姜をプラスし、甘辛な味わいが楽しめる豆腐チゲ用スープ「ご飯がススム豆腐チゲの素」をリニューアル発売しました。



リニューアル

「ご飯がススム辛口キムチ」 「ご飯がススムカクテキ」が さらにおいしくリニューアル

「ご飯がススム辛口キムチ」は、魚介の濃厚さはそのままに、辛さとにんにく感がパワーアップ。

「ご飯がススムカクテキ」は、かつおの風味はそのままに、すっきりとした甘さとアクセントにピリッとした辛さを加え、さらにおいしくリニューアルしました。



オンラインショップのご案内

Piene オンラインショップ

野菜と乳酸菌と暮らす



ピーネ

「Piene」は、「野菜と乳酸菌と暮らす」をテーマに、新しいライフスタイルを提案するブランドです。植物性乳酸菌「Pne-12」と糀の発酵の力で野菜本来のおいしさを引き出した商品を展開しています。



八幡屋 オンラインショップ



八幡屋
YAWATAYA
since 1932



本物の漬物を届けたい。「国産」の主原料をじっくり漬け込んだおいしい漬物を80年を超える歴史を誇る「八幡屋」ブランドでお届けいたします。

商品はOH!!!のサイト内からご購入いただけます

発酵、健康、食の魔法!!!



Our Home Hanno

発酵に親しむ複合施設 「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」

2020年10月、埼玉県飯能市に開業。「発酵」「健康」をキーワードとしたさまざまな商品の販売や、発酵に関する体験など、OH!!!という驚きと感動をお届けし、「発酵」の魅力をより身近に感じていただける施設として展開してまいります。また、初のBtoC事業として、作り手の想いを消費者の方に直接発信していく役割を担います。

<https://oh-hanno.jp/>



Shop 八幡屋



Restaurant Femy_(フェミー)



Cafe Piene Café (ピーネカフェ)



Workshop パリシャキ研究所

会社概要の詳細は当社ホームページでご紹介しています。

<https://www.pickles.co.jp/company/profile/>



お問合せ先

株式会社 ピックルスコーポレーション 広報・IR室

〒359-1124 埼玉県所沢市東住吉7番8号

TEL 04-2925-8885

URL <https://www.pickles.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォント、適正管理された森林木材による森林認証紙、環境にやさしい水なし印刷、ページタブラインキを採用しております。